

入選

あいさつできていますか

滋賀県 石山中学校

3年 谷原來華

「あいさつを心を込めて、大きな声で言っていますか？」

と聞かれたなら、私は自信を持って「はい」と答えます。しかし、昔の私なら「いいえ」と答えていたでしょう。

私は小さい頃から、母に「あいさつは心を温かくしてくれる」と教えられてきました。しかし、私はあいさつだけで心が温かくなるのかと、半信半疑でした。その当時の私は人見知りで、大きな声を出すことが恥ずかしかったこともあり、朝の登校時など、地域の方々にあいさつをしていただいても、やっと相手に届くか届かないかくらいの声で返事をするだけでした。母には、相手に声が聞こえていなければ、あいさつしていないのと同じことだ、とよく言われていました。

ある日、家族で飲食店に行った時のことでした。その飲食店では、自分でお皿を返却口に戻す形式でした。私はご飯を食べ終わると、いつものように何も言わずに戻しました。しかし、母は違いました。

「ごちそうさまでした。おいしかったです。」

と言いながら戻していたのです。すると、お店の人が、「ありがとうございます！」と母に笑顔で返されているところを見たとき、私は母のあの言葉の意味を少し理解できたような気がしました。それと同時に、私は何も言わずに返却してしまった後悔が心に残りました。

その後、私はまたあの飲食店に行く機会がありました。ご飯を食べている間、私はあることを心に決めていました。ご飯を食べ終え、私は緊張で小さくなりそうな声を、勇気を振り絞り、

「ごちそうさまでした。おいしかったです。」

と店員さんに伝えました。すると笑顔で、「ありがとう。」と返してくださったのです。そのとき私は、心がとても温かくなっていることに気がつきました。

私は、想いは言葉にしないと伝わらないと考えています。あの日のできごとは、感謝の気持ちを言葉にして伝えたことで、相手が温かい気持ちになり、その想いを私に返してくださったことで、私も温かい気持ちになったできごとでした。

私はこの経験を生かし、あのときの一瞬の勇気を忘れず、心の温かさの連鎖を広げていくことができたらいいな、と思います。

そして、このような経験をさせてくれた母にも「ありがとう」と心を込めて言いたいと思います、